

表紙は語る 表紙は語る



Mr.ChildrenTour2009～終末のコンフィデンスソング～の最後を飾った「優しい歌」。
今回の表紙はこの歌の中の一節 **このスニーカーの紐を結んだなら さぁ行こう** という歌詞を
モチーフにしています。ミスチルの歌には「靴ひも」という、そのものズバリの歌もあり、
「靴ひも」には「AnotherSong」まで作られているのですが、Cacco 的思い出入れ度からいく
とやっぱり「優しい歌」かなあと。

「優しい歌」というタイトルは桜井氏の別れた娘の名前に由来していることから、かれの
娘への贖罪の歌という一面も持ち、そう思って聴くと、すべての歌詞がかれの過去・現在・
未来と、いちいちぴったり符合していくようでもあります。成長した娘は自分の名前を冠
した歌をどういうふうを受け止めるのでしょうか？桜井氏にとっては複雑な位置に立つ娘。
もし生まれ変わることができたらこの娘になるのもいいかなと思ったりもするのは少々興
味本位すぎるのでしょうか？

簡単に平伏した あの日の誓い
思い出して歯痒くて思わず叫ぶ
後悔の歌 甘えていた 鏡の中の男に今 復讐を誓う

出口のない自問自答 何度繰り返しても
やっぱり僕は僕でしかないのなら
どちらに転んだとしても それはやはり僕だろう
このスニーカーの紐を結んだなら さぁ行こう

